

高齢者歯科疾患論

講 師	三 串 伸 哉	実施時期 単 位 数	第 2 学年後期 1 単位 (15 時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	歯科衛生業務を行うために必要な高齢者の身体的・心理的特徴と歯科治療を理解する。				
授 業 概 要	高齢者の全身および精神的な特徴を把握し、歯科臨床に於いての適切な対応や口腔保健管理について習得する。				
学 習 方 法	講義・VTR視聴				
成績評価の方法	定期試験 100%				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ「高齢者歯科学」 医歯薬出版				
履修上の注意					
参 考 書					
教員の職務経験 (科目との関連性)	病院勤務時は特殊歯科で有病者治療に携わる。経験をもとに、高齢者の全身、および精神的特徴などの基礎知識や、適切な対応について講義する。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	高齢者をとりまく社会	高齢者を取り巻く社会環境や社会保障について知識を得る。
2	加齢の科学	加齢に伴う身体および口腔の生理的変化と病的変化について知る。
3	高齢者における口腔領域の疾患	齲蝕、歯周病、粘膜疾患など高齢者に特有の病態を学ぶ。
4	全身疾患の把握と対応	有病高齢者における病態の把握と対応策について学ぶ。
5	高齢者歯科医療の場	外来および訪問診療における医療現場での対応について学ぶ。
6	口腔衛生管理	高齢者に特有の口腔病態の把握とその対応策について学ぶ。
7	摂食・嚥下障害とリハビリテーション	摂食・嚥下障害のメカニズムと対応策について学ぶ。
8	介護保険における歯科衛生士の役割	居宅療養管理指導などの算定要件について理解する。